

緩和策と適応策

地域での融合に向けて

2024年 1月 11日 (木) 13:30 ~ 16:40
@ ウィンクあいち 11階 1101会議室

参加
無料

「気候危機」と言われるようになった現在、深刻な気象災害が多発しています。今後も大雨や台風のリスク増加が懸念されており、私たちは激甚化する災害の脅威にさらされています。

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、我が国は国内の温室効果ガス排出「実質ゼロ」を実現すべく、「脱炭素社会」、「循環経済」、「分散型社会」の構築へと動き出しました。

地球温暖化対策の「緩和」と「適応」を融合した地域づくりについて、自治体として、推進員として、「いま」そして「これから」何をすべきか、何ができるかを考えます。

プログラム

- 挨拶 平野 淳一（愛知県環境調査センター 研究監）
- 愛知県気候変動適応センターの取組
高井 賢治（愛知県環境調査センター 企画情報部長）

第1部 基調講演

- 「気象災害と地球温暖化 ～台風と豪雨について～」
坪木 和久 氏（名古屋大学宇宙地球環境研究所
／横浜国立大学台風科学技術研究センター 教授）

第2部 話題提供

1. 「緩和策と適応策の融合とは」
曾山 信雄 氏（環境省中部地方環境事務所環境対策課 課長）
2. 「地域における緩和と適応の取組について ～愛知県豊田市の事例」
塩谷 誠 氏（豊田市環境部環境政策課 課長）
3. 「強靱で持続可能なまちづくり ～福井県坂井市の取組」
北川 直規 氏（坂井市生活環境部市民協働課 課長）

第3部 トークセッション 「緩和策と適応策が融合した地域づくりを考える」

コメンテーター：坪木 和久 氏、曾山 信雄 氏、塩谷 誠 氏、北川 直規 氏
コーディネーター：原 理史（環境省 EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センター）

気候危機対策交流フォーラム

参加申込方法

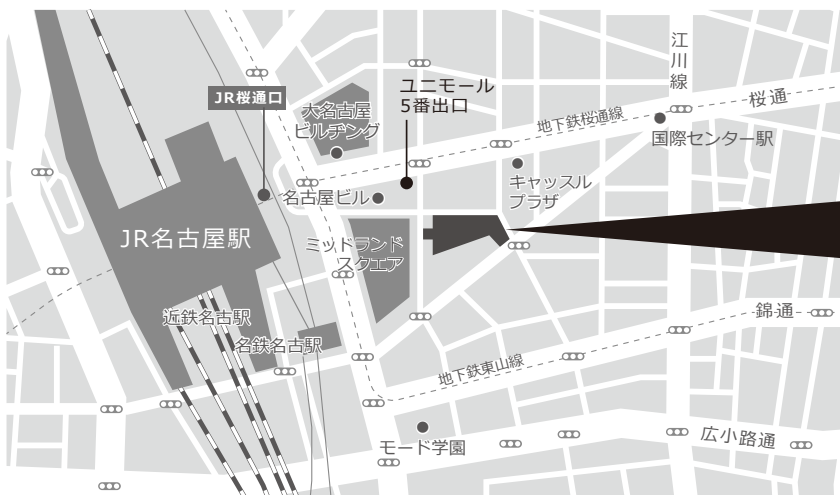
メール または FAXでお申し込みください。

- ▶ メールでのお申し込み：件名欄に「気候危機対策交流フォーラム」と記載し、
 - 申込者の氏名・連絡先(電話 または FAX)・所属等(個人 または 所属先)
 - 参加人数および同行者の氏名 を記入し、送付してください。
 - ▶ FAXでのお申し込み：下枠内に必要事項を記入のうえ、本紙1枚を送信してください。
- ★ いずれも締め切りは**2024年1月5日(金)**です。

申 込 者	フリガナ	
	氏 名	
	連絡先	電話： _____ FAX： _____
	所 属 <small>いずれかに✓をつけ、 自治体・推進員等については、 所属先の名称をご記入ください。</small>	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 自治体： _____ <input type="checkbox"/> 推進員： _____ <input type="checkbox"/> その他： _____
同 行 者	参加人数	申込者を含め _____ 名
	同行者氏名	

申し込み・問合せ先： 一般社団法人 環境創造研究センター
メール cca-info@kankyosoken.or.jp / FAX 052-932-7296
TEL 052-934-7295 ※ 電話は、お問合せのみを受け付けます。

会 場



ウインクあいち

名古屋市 中村区 名駅四丁目4-38
<https://www.winc-aichi.jp/>